

内甲六九九

昭和十八年十二月三十日

内閣書記官長

内閣書記官

内甲十二三

## 内閣總理大臣

## 法制局長官

外務大臣

海軍大臣

大東亞大臣

岸國務大臣

内務大臣

司法大臣

農商大臣

大麻國務大臣

大藏大臣

文部大臣

軍需大臣

後藤國務大臣

陸軍大臣

厚生大臣

運輸通信大臣

藤原國務大臣

別紙 内務運輸通信兩大臣請議公有水面  
 埋立法及同法施行令戰時特例ノ件

去 刑 罰

ヲ審査スルニ右ハ相當ノ儀ト思考ス依テ請議ノ通  
閣議決定セラレ可然ト認ム

勅 令 案

朕公有水面埋立法及同法施行令戰時特  
例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和十六年十二月二十四日

内閣總理大臣

内務大臣

運輸通信大臣

(起案用紙青三ノ一號)

呈案附箋ノ通

主任者 國土局高村庶務課長

内務省發國第一七六號

昭和十八年十二月十八日

公有水面埋立法及同法施行令戰時特例ノ件

義ニ閣議ニ於テ決定セル國內態勢強化方策ニ基キ官廳事務ノ徹底的簡素化ヲ圖ランガ爲公有水面埋立法中(一)第二十三條但書ノ規定ニ依リ埋立ノ免許ヲ受ケタル者ニシテ竣工認可前ニ於テ埋立地ニ埋立ニ關スル工事ニ非ザル工作物ヲ設置セムトスルトキハ地方長官ノ許可ヲ受クルコトト相成居ルモ右ハ工作物設置ノ日ヨリ五日前ニ地方長官ニ届出ヲ以テ足ルコトトシ(二)同一區域ニ亘ル埋立ノ出願ニシテ免許シ得ベキモノ數件アル場合ニ於ケル埋立ノ免許又ハ其ノ拒否ニ關シテハ地方長官ハ内務大臣ノ認可ヲ受クルコトト

相成居ルモ右ハ大東亞戰爭中認可ヲ受クルコトヲ要セザルコトト

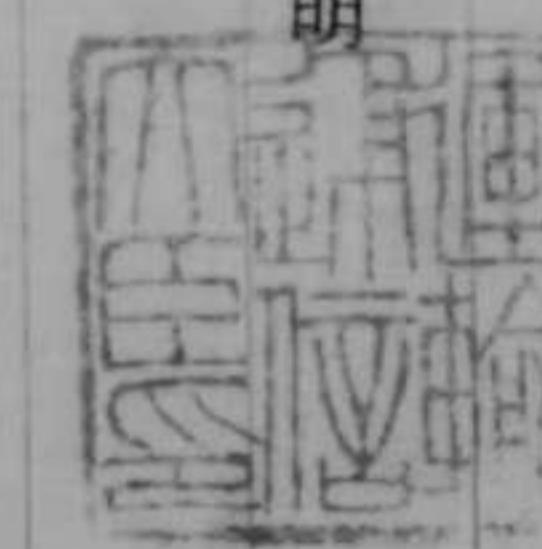
致度ニ付別紙ノ通勅令案ヲ提出ス

右閣議ヲ請フ

昭和十八年十二月十七日

内務大臣 安藤紀三郎

運輸通信大臣 八田嘉明



内閣總理大臣 東條英機殿

# 大日本帝國政務省

勅令第九百四十一號

公有水面埋立法及同施行令戰時特例

第一條 許可認可等臨時昔置去ニ基ク  
公有水面理立法ノ特例及大東亞戰爭中ニ於ケ  
書多共定ニ依ル地方長官ノ許可ハ之ヲ受クハラ  
五日前ニ地方長官ニ其ノ旨ヲ届出ヅルヲ以テ足ル

第三條 公有水面埋立法施行令第三十二條ノ規定ニ依ル内務大臣ノ認可ハ、  
之ヲ受クルヲ要セズ

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

# 大日本帝國政府

勅令第九百四十二號

## 公有水面埋立法及同施行令戰時特例

第一條 許可認可等臨時措置法ニ<sub>ハ</sub>同法施行令ノ特例ハ本令ノ定ムル所ニ依テ  
第二條 公有水面埋立法第ニ十三條但書定ニ依ル地方長官ノ許可ハ之ヲ受クルヲ要セバ工作物ノ設置  
ノ日ノ<sub>トス</sub>五日前ニ地方長官ニ其旨ヲ届出ヅルヲ以テ足ル<sub>トス</sub>

第三條 公有水面埋立法施行令第三十二條ノ規定ニ依ル内務大臣ノ認可ハ之ヲ受クルヲ要セズ  
附 則  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

# 府政國帝本日大

勅令第九百四十一號

## 公有水面埋立法及同施行令戰時特例

第一條 許可認可等高寺皆置夫、  
第二條 公有水面埋立法第ニ十三條但書ノ規定ニ依ル地方長官ノ許可ハ之ヲ受クルヲ要セズ工作物設置  
ノ日五日前ニ地方長官ニ其ノ旨ヲ届出ヅルヲ以テ足ル、

第三條 公有水面埋立法施行令第三十二條ノ規定ニ依ル内務大臣ノ  
認可ハ、  
附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

内務省

# 府政國帝本日大

## 理由

大東亞戰爭中行政事務簡素化ノ趣<sup>ヒヨコ</sup>有水面埋立法及同法施行令<sup>モニレ</sup>依<sup>レ</sup>許  
可認可事項ヲ整理スルノ要アルニ依ル

# 府政國帝本日大

## 理由

大東亞戰爭中行政事務簡素化と以テ公有水面埋立法及同法施行令ニ依ル  
可認可事項ヲ整理スルノ要アルニ依ル

参照

公有水面埋立法

公有水面埋立法施行令

本令成功ノ見込ナキニ至リシルトキ  
四 補助金交付ノ目的タル土地又ハ設備ヲ  
農業上ニ利用セサルニ至リシルトキ  
五 許可ノ手段ヲ以テ補助金ノ交付ヲ受ケ  
タルトキ

三 事業ノ全部又ハ一部ヲ停止又ハ廢止シ  
タルトキ

六 本令ニ依ル處分ニ違反シ検査ヲ拒ミ又  
ハ内閣ノ報告ナシタルトキ

第十五條 通知事ヲ認可ヲ受クベキ土地改良  
事業ヲ行フ者ニ對シテ補助金ヲ交付スル場  
合ニ於アハ本令ニ依ル朝鮮總督ノ職權ハ道  
知事之ヲ行フ但シ通知事第二條第一項但書  
ノ規定ニ依ル補助金交付ノ指令ヲ爲サシト  
スル場合ニ於テハ珠メ朝鮮總督ノ承認ヲ承  
ケタルモノト看做ス

附 則

本令ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス  
本令施行前水利組合補助規程ニ依リ補助金交  
付ノ指令ヲ受ケタルモノハ本令ニ依リ之ヲ受  
ケタルモノト看做ス

附 則(昭和四年朝鮮總督府令第十四  
號)

本令ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス  
海、湖、沼其ノ他ノ公共ノ用ニ供スル水流又  
ハ水面ニシテ國ノ所有ニ屬スルモノナ謂ヒ  
埋立ト稱スルハ公有水面ノ埋立ヲ謂フ  
公有水面ノ子孫ハ本法ノ適用ニ付テハ之ヲ  
規定ニ依ル補助金交付ノ指令ヲ爲サシト  
スル場合ニ於テハ珠メ朝鮮總督ノ承認ヲ承  
ケベシ

● 公有水面埋立法

大正十年四月九日  
法律第五十七號

第十九條 埋立ヲ爲ス會社ノ發起人會社合併ニ  
立テ後ニ於テ會社ノ爲ス埋立ニ付免許ヲ受  
ケタル場合ニ於テ會社成立シタルトキハ埋  
立ヲ爲ス權利其ノ他ノ埋立ニ關スル法令又  
ハ之ニ基キテ爲ス處分若ハ其ノ條件ニ依リ  
生シタル權利義務ハ會社之ヲ承繼ス

第二十條 埋立ノ免許ヲ受ケタル會社合併ニ  
因リテ消滅シタルトキハ埋立ヲ爲ス權利其  
人他ノ埋立ニ關スル法令又ハ之ニ基キテ爲  
ス處分若ハ其ノ條件ニ依リ生シタル權利義  
務ハ合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リテ  
成立シタル會社之ヲ承繼ス

第二十一條 第十六條乃至第十九條ノ規定ニ  
依ル權利義務ノ承繼アリタル場合ニ於テハ  
本法ノ適用ニ付テハ其ノ權利義務ヲ承繼シ  
タル者ヲ以テ埋立ノ免許ヲ受ケタル者ト  
可テ受クヘシ

第二十三條 埋立ノ免許ヲ受ケタル者ハ前條  
ノ坡功認可前ニ於テ埋立地ヲ使用スルコト  
ヲ得但シ埋立地ニ埋立ニ關スル工事用ニ非  
サル工作物ヲ設置セムトスルトキハ命令ヲ  
以テ指定スル場合ヲ除タノ外地方長官ノ許  
可ヲ受クヘシ

第二十五條 公共ノ用ニ供スル國有地ニシテ  
埋立ニ關スル工事ヲ施行ニ因リ不用ニ歸シ  
タルモノハ動合ノ定ムニ所ニ依リ有償又ハ

有水面埋立法

第三條 前條ノ免許ハ地方長官期間ヲ指定シテ地元市町村會意見ヲ徵シ之ヲ爲スヘシ  
第四條 地方長官ハ埋立ニ開スル工事ノ施行區域内ニ於ケル公有水面ニ關シ権利ヲ有スル者埋立ニ同意シタルトキ  
第五條 前條ニ於テ公有水面ニ關シ権利ヲ有スル者ト稱スルハ左ノ各號ノ一二該當スル者ヲ謂フ  
第六條 埋立ノ免許ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ付スルコトナ得  
第七條 埋立地ニ關スル權利ノ設定又ハ譲渡ニ付テハ埋立ノ免許條件ヲ以テ地方長官ノ許可ヲ受ケタル者  
第八條 埋立地ニ關スル權利ハ共同シテ之ヲ有スルモノ  
第九條 法令ニ依リ公有水面占用ノ許可ヲ受ケタル者  
第十條 惯習ニ依リ公有水面ヨリ引水ヲ爲シ又ハ公有水面ニ排水ヲ爲ス者  
第十一條 公有水面ニ排水ヲ爲シ又ハ公有水面ニ排水ヲ爲ス者  
第十二條 不動產登記法第百二十九條ノ規定ハ前項ノ登記ニ付之ヲ準用ス  
第十三條 第二十九條第一項ノ登記ヲ爲シタル埋立地ニ關スル權利ノ設定又ハ譲渡ニ付ケタル者ハ其ノ取得ノ日ヨリ起算シ十四日内ニ地方長官ニ届出ツヘシ  
第十四條 地方長官ハ前二條ノ埋立地ニ關スル權利ヲ取得シタル者ニ對シ埋立ノ免許條件ノ範圍内ニ於テハ地方長官ハ其ノ工事ノ施行區域内ニ於ケル公有水面ニ存スル工作物其ノ他ノ物件ノ除却ヲ其ノ所有者ニ命スルコトヲ得  
第十五條 第二十九條第一項ノ許可ヲ受ケタル者ニ關スル工事竣工認可前ニ限り地方長官ハ埋立ニ基キテ發スル命令ニ依リテ其ノ爲シタル免許其他ノ處分ヲ取消シ其ノ效力ヲ制限シ若ハ其ノ條件ヲ變更シ、埋立ニ關スル工作事ノ施行區域内ニ於ケル公有水面ニ存スル工作物其ノ他ノ物件ヲ改築者ハ除却セシム、且古テ防土大レ爲必要ナレ  
第十六條 前二條ノ規定ハ耕地整理法ニ依ル溝渠又ハ溜池ノ變更ノ爲必要ナル埋立其ノ合効合ヲ以テ指定スル埋立ニ付之ヲ適用セス  
第十七條 埋立ヲ爲サムトスル者ハ地方長官ノ免許ヲ受ケヘシ  
第十八條 前條ノ免許ハ地方長官期間ヲ指定シテ地元市町村會意見ヲ徵シ之ヲ爲スヘシ  
第十九條 前條ノ許可ヲ受ケ權利ヲ取得シタル者ニ關スル工事ニ掲タル場合ニ於テ埋立ニ關スル權利ヲ取得シタル者ニ對シ埋立ノ免許條件ノ範圍内ニ於テハ地方長官ハ其ノ工事ノ施行區域内ニ於ケル公有水面ニ存スル工作物其ノ他ノ物件ノ免許ヲ受ケタル者ニ對シ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リテ其ノ爲シタル免許其他ノ處分ヲ取消シ其ノ效力ヲ制限シ若ハ其ノ條件ヲ變更シ、埋立ニ關スル工作事ノ施行區域内ニ於ケル公有水面ニ存スル工作物其ノ他ノ物件ヲ改築者ハ除却セシム、且古テ防土大レ爲必要ナレ  
第二十条 前條ノ規定ハ耕地整理法ニ依ル溝渠又ハ溜池ノ變更ノ爲必要ナル埋立其ノ合効合ヲ以テ指定スル埋立ニ付之ヲ適用セス  
第二十一条 前條ノ規定ハ耕地整理法ニ依ル溜池ノ變更ノ爲必要ナル埋立其ノ合効合ヲ以テ指定スル埋立ニ付之ヲ適用セス  
第二十二条 前條ノ規定ハ耕地整理法ニ依ル溜池ノ變更ノ爲必要ナル埋立其ノ合効合ヲ以テ指定スル埋立ニ付之ヲ適用セス

依ル供託金ニ對シテ  
ヲ得

利ヲ他人ニ譲渡スル

公有水面埋立法施行令第十二之二之子公

六

海西ノ埋立ニ在リテハ前各號ニ揚クルモノノ外埋立ニ關スル工事ノ施行區域ヲ記載シタル海軍海圖又ハ其ノ監寫圖

二通

コトナ得其ノ變更ハ届書ニ新出願人ニ關スル前條第一項第一號ニ揚クル事項ヲ記載シ新舊出願人ヨリ連名ニテ地方長官ニ之ヲ届

第三條

埋立出願人ハ出願名義ノ變更ヲ爲ス

コトナ得

事項ナ記載シタル頃書ナ地方長官ニ提出スハシ此ノ場合ニテ埋立ニ關スル工事ノ施行スレ薄渠又ハ溜池ノ變更ノ爲必要ナル

第四條

都市計画法第十二條ノ土地區劃整理トシテ埋立スレ薄渠又ハ溜池ノ變更ノ爲必要ナル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトナ得

第五條

四十七條 本法ニ依リ地方長官ノ職權ニ屬スル事項ハ勅令ニ定ムル所ニ依リ其ノ輕易ナルでノニ限リ下級行政處ニ之ヲ委任スルコトナ得

四十八條 本法ニ依リ地方長官ノ職權ニ屬スル事項ハ勅令ニ定ムル所ニ依リ其ノ輕易

ナル事項ハ勅令ニ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ認可シ受ケシムルコトナ得

四十九條 本法申市會又ハ市長ニ關スル規定ハ北海道區制又ハ沖繩縣區制ニ依ル區

管チハ區會又ハ區長ニ關シ之ヲ適用ス

第五十條 本法ハ勅令ニ定ムル所ニ依リ公

本法中町村會又ハ町村長ニ關スル規定ハ町

第五十一條 本法ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ左ノ通指定期定ス

第六條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第七條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第八條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第九條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第十條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第十一條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第十二條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第十三條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第十四條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第十五條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第十六條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第十七條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第十八條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第十九條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第二十條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第二十一條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第二十二條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第二十三條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第二十四條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第二十五條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第二十六條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第二十七條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第二十八條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第二十九條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第三十條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第三十一條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第三十二條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第三十三條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第三十四條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第三十五條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第三十六條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第三十七條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第三十八條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第三十九條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第四十條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第四十一條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第四十二條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第四十三條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第四十四條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第四十五條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第四十六條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第四十七條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第四十八條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第四十九條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第五十條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第五十一條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第五十二條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第五十三條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第五十四條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第五十五條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第五十六條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第五十七條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第五十八條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第五十九條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第六十條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第六十一條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第六十二條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第六十三條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第六十四條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第六十五條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第六十六條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第六十七條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第六十八條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第六十九條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第七十條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第七十一條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第七十二條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第七十三條

公有水面埋立法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通指定期定ス

第七十四條

# 國立公文書館 National Archives of Japan

國立文書館  
National Archives of Japan

昭和十八年十二月三十一日

內閣書記官長

內閣書記官

內閣總理大臣

法制局長官

内務大臣

司法大臣

陸軍大臣

厚生大臣

別紙内務大臣請議道路法戰時特例及  
道路管理者特別規程外九勅令改正件

第三十條	官ハ内務大臣ノ認可ヲ受クヘシ	第一官ハ内務大臣ノ認可ヲ受クヘシ
第三十一條	内務大臣ハ第五條ノ場合ニ於ケル埋立ノ免許又ハ其ノ拒否ヲ受クヘシ	内務大臣ハ第五條ノ場合ニ於ケル埋立ノ免許又ハ其ノ拒否ヲ受クヘシ
第三十二條	内務大臣ハ第六條ノ場合ニ於ケル埋立ノ免許又ハ其ノ拒否ヲ受クヘシ	内務大臣ハ第六條ノ場合ニ於ケル埋立ノ免許又ハ其ノ拒否ヲ受クヘシ
第三十三條	内務大臣ハ第七條ノ場合ニ於ケル埋立ノ免許又ハ其ノ拒否ヲ受クヘシ	内務大臣ハ第七條ノ場合ニ於ケル埋立ノ免許又ハ其ノ拒否ヲ受クヘシ
第三十四條	内務大臣ハ第八條ノ場合ニ於ケル埋立ノ免許又ハ其ノ拒否ヲ受クヘシ	内務大臣ハ第八條ノ場合ニ於ケル埋立ノ免許又ハ其ノ拒否ヲ受クヘシ
第三十五條	内務大臣ハ第九條ノ場合ニ於ケル埋立ノ免許又ハ其ノ拒否ヲ受クヘシ	内務大臣ハ第九條ノ場合ニ於ケル埋立ノ免許又ハ其ノ拒否ヲ受クヘシ
第三十六條	内務大臣ハ第十條ノ場合ニ於ケル埋立ノ免許又ハ其ノ拒否ヲ受クヘシ	内務大臣ハ第十條ノ場合ニ於ケル埋立ノ免許又ハ其ノ拒否ヲ受クヘシ
第三十七條	内務大臣ハ第十一條ノ場合ニ於ケル埋立ノ免許又ハ其ノ拒否ヲ受クヘシ	内務大臣ハ第十一條ノ場合ニ於ケル埋立ノ免許又ハ其ノ拒否ヲ受クヘシ

第一條	官ニ屬スル公有水面ヲ埋立テシコト	内務省訓令第三十六號 明治二十三年十月二十日	岩留内 内萌海 港港港	唐津港 倉橋濱 (ラル ム)	八徳吳宇濱魚能石福鳥 橋島 野田津代卷江羽 橋港港港港港港	小館山 砂崎 港(北 ム)	柏崎 ノ津港 港港港	口高 横須賀 崎港港	宮崎 津港 港港港	號小舞七大境 鶴尼分港 港港港港	鹽土境 釜崎 港(花 ム)
第二條	官有水面埋立ノ命令書ニハ左ノ條項 記載ス可シ	チ出願スル者アルトキハ關係市町村會ノ意見 チ聞キ然後技術者ヲシテ調査セシメ第二 規定シタル命令書ヲ下付シテ之ヲ	北海道廳 府縣	糸穂吉住 走内江 港港港	三多勝宇松東 津浦盐 池港 (高 ム)	小笠下社 浦瀬石田港 港港港	鉄夷嚴洲明浦 子原本石賛 港港港港	鐵夷嚴洲明浦 子原本石賛 港港港港	神武豐港 (新川 ム)	西岸和田 津港 本直江津 港港	博宮細青新 蘭多古島森湯 港港港港
		以下ニ規定シタル命令書ヲ下付シテ之ヲ		根釧三臼長宇和 室路角杵演 港港港	和糸玉米三酒获 崎烏子國田演 港港港	津和世保 本更津港 港	西宮磨 津港 岸和田港				
		見テ開キ然後技術者ヲシテ調査セシメ第二 規定シタル命令書ヲ下付シテ之ヲ		和歌山 港港港	和糸玉米三酒获 崎烏子國田演 港港港	津和世保 本更津港 港	西宮磨 津港 岸和田港				

一一一  
著手ノ期限既ニ迄許ナ與ヘタル後ト雖モ其成功ノ認可ヲ與フルマテノ間ハ公害ヲ生シ若クハ之ヲ發見スルトキハ地方長官ハ何時ニテモ無償ニテ命令書ノ條項ヲ改メ得ルコト  
著手ノ期限ニ至テ著手セス成功ノ期限ニ至テ成功セス其他命令ノ條項ニ從ハサルモノハ免許ノ効ヲ失ヒ且障害ヲ加ヘ又ハ加ヘントスルコトアラハ出願人シノ費用ヲ以テ之ヲ除カシメ又ハ豫防セシムルコト  
免許權ベ官許ヲ受ケルニ非サレハ擔保貸付ニ供シ又ハ他ニ移スコトヲ得サルコト  
天災事變ノ爲メニ期限内ニ著手若クハ成功シ難キ事情アルモノハ其事由ノ止ミタル後二箇月内ニ出願スルニ於テハ相當ノ延期ヲ與フルコト  
通船ノ便利附惡水ノ疏通ヲ保護スル等埋立ノ地位ト季節トニヨリテ公益上制限ヲ加フルノ必要アルモノハ精細ニ其仕様ヲ命令書中ニ記載ス可シ  
埋立成功ノ後其地所ノ道路溝渠物場等公共ノ用ニ供ス可キ分ハ無償ニテ官有トナス可シ其他ハ出願人ノ所有ニ定ムルコトヲ得  
前項官有ニ歸ス可キ地區ト出願人ノ所有トス可シ  
第五條 大土工ニハ埋立方法書ノ外精密ナル設計書ト圖面ヲ造ラシメ之ヲ命令書ニ附屬ス可シ本條ノ場合ニ於テハ埋立ノ區域ヲ數區ニ分チ著手及成功ノ期限ヲ異ニシ幾工石ノ成功ニ妨ケナク且公益ニ害ナキ限りハ其成功スル毎ニ出願人ノ所有ニ定ムルコトヲ得  
第六條 公有水面ヲ變シテ出願人ノ所有トシタル後公害アルコトヲ發見スルトキハ其價ヲ以テ買收スル力又ハ收用スルニ非サハ回復スルコトヲ得ス  
第七條 舊慣ニヨリテ捕魚採藻ノ業ヲ營ム外公有ノ水面又ハ河川敷地ヲ其儘使用セコトヲ出願スルモノアルトキハ前條キノ如ニ準シ命令書ヲ下付ケテ之ヲ免許ス可シ得

直樹シノ レ時ヲ特其心致局ル 記下シ 有物ヲ置カレテ正シ 之處ニテ大體ノ事